



包括だより 大迫版

10月



# おおはさまの小窓

小窓①

## 第3回 家族介護教室を開催しました！

9月18日(木)、大迫保健福祉センターにて、第3回家族介護教室が行われました。今回は「口腔ケア」をテーマに、中部病院地域医療福祉連携室の赤坂歯科衛生士より口腔ケアの基礎知識についての講話や、ケアの手順についてお話し頂きました。また、実際に手鏡を覗きながらスポンジブラシで口腔ケアを行うという実技もあり、「介護されている側の感覚を知ることが出来た」との声が聞かれました。

介護食の紹介と試食タイムでは、イーエヌ大塚製薬の「あいーと」を試食し、「人は目でも食事をしていることがよく分かった。味も良く、お祝いの日などに活用したい」と好評でした。



## 高齢者の暮らしを地域で支える仕組み 介護保険

小窓②

今月は、介護保険のサービスを利用しながら自立した生活をされている小野博通さんをご紹介します。小野さんは、今年の4月から一人暮らしとなりましたが、今まで家事をした事がなく、とても戸惑いを感じていました。そこで、介護保険を申請。「要支援1」の認定を受け、訪問介護サービスを利用し、ヘルパーさんに調理や掃除を支援してもらうことにしました。

以前、調理に関しては「電子レンジの使い方をやっと覚えまして」と話していた小野さんですが、現在はヘルパーさんの助言のもとカレーライスづくりに挑戦することもあるとか。これからどんどんレパートリーが増えていくといいですね。

このように、介護保険のサービスは、出来る限り住み慣れた地域で自立した生活できるよう、高齢者を支える制度です。サービスについて話を聞きたい、サービスを利用したい、という方は大迫地域包括支援センターまでご連絡ください。

レパートリーが増えるように頑張りましょう！



ヘルパーさんとの調理は楽しいね。

